



JAPANKART CUP with HDX シリーズ第4戦
開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/8月25日 天候/晴 路面状況/ドライ

2018 JAPAN KARTCUP with HDX シリーズ第4戦



KT100 クラスの常連選手となる岡本は序盤にキャブの不調から出走できず苦しい展開に



総合5位に入賞したOPENクラスの鈴木。チェッカーを受けた際、まだ1周あると勘違いしたとか



KT100 クラス表彰式。40度を記録する暑さのなか、1人で走りきった岡本



H-OPEN クラス表彰式。優勝した鈴木は「今回は参加者みんなの耐久でした」とコメント

暦の上では季節はもう秋。しかし、まだまだ暑さは健在のようで、手持ちの温度計を見れば40度を指していた。そんな非常に厳しいコンディションのもと、開催されたシリーズ第4戦。今回は珍しく土曜日開催となり、エントリーはJKカップを含めて14台でのレースとなる。

気温がピークを迎える14時過ぎにレースはスタート。走れば集中するので暑さはあまり気にならないとドライバーは言うが、それでも1人で参戦するチームの場合、かなり過酷な状況だったのは間違い無い。それはピットクルーも同様で、むしろ炎天下のなかドライバーを見守るクルーの方が辛かったかもしれない。

さて、KT100クラスでは常連の岡本義晴がクラストップ。スタート時にエンジンが掛からずマシンの修理に追われたのだが、再スタートを切った後は好調で無事完走した。OPENクラスは鈴木寛が総合5位に入る素晴らしい走りでもクラス優勝。あまりの暑さにタイムが思った以上に出なかったというのが、夏の耐久を存分に感じ取れたと満足げな表情を見せていた。